

太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2026. 2

我が家族へ ～還暦メッセージ～



先月、還暦を迎えました。

「60などまだまだ先」と他人事に思っていたのが、いつのまにか・・(^_^)

40、50と節目の年を重ねて来ましたが、60というのはさすがに「年取ったなあ～」「もう若くない」と、自らの老いを自覚しました。

「これから先、どう生きていくか?」。それよりも「残りの人生、何をして、何を子孫に残していくか?」。

祝宴の楽しい時間を過ごしながら、還暦の朝、真剣に考えました。

「家族に一人ずつ、今の自分の想いを乗せた一言を残そう！」
ひらめきました。一言は、相手の長所であり、個性です。

長男には「実直」(真面目で正直)
嫁には「気品」(上品な所作)

次男には「寛大」(おおらかな心)
嫁には「明朗」(明るく朗らか)

母には「賢母」(賢い母)
妻には「良妻」(良き妻)



特別なカードに直筆して、この言葉を忘れず
前向きに生きて行ってほしい。
一人一人に手渡ししながら伝えました。

まさに還暦の“遺言”です。
我ながら、ナイスな企画でした(笑)。



特に東京に住む長男の嫁に対して、自分の想いをたっぷり乗せました。
太田家に嫁いで3年目。長崎に来たのは今回3回目。
家族の中で一番付き合いが薄い・・・そんな引け目があるはず。

私は太田家のリーダー。
健全な家族を築き上げることが
リーダーの役目です。

そのためには
「家族それぞれがどんな想いでいるか？」
深い洞察力、温かい対応が必要不可欠。



まだまだ未熟なリーダーではありますが
今回が一番、笑顔が輝いていて、とっても楽しそうで
「太田家に染まった！」と嬉しく、安心したのです。

「悪妻は百年の不作」ということわざがあります。

悪い妻が嫁いでくると、その家系は百年（3世代）に渡って不幸になるという意味です。決して男尊女卑ではなく、実を的を射ている言葉だと私は思います。（病気の相談を通じて実感しています）

では「悪妻」とは何か？

育児・家事放棄、ギャンブル、不倫、品行下劣な振る舞い・・・もちろんそれらもそうですが、私が考える悪妻とは、百年スパンで考えられない妻。自分のことばかり、自分の子供ばかりで、「家系」「先祖」「子孫繁栄」という大局的な考えを持たない妻。

「そんなの、夫もじゃないですか！」

はい、悪夫もいっぱいいますよ(笑)。しかし悪夫でも、その妻が良妻ならその家は繁栄するのです。では悪妻の家でも、良夫ならどうなのか？それは成立しない、逆はないというのが、このことわざの真意なのです。

これからは女性が組織のリーダーになる時代です。

賢明な判断力・行動力・統率力。男ではなく、女性に求められます。

言い争いたくない、家族から嫌われたくないからと「黙認」「我慢」「自己犠牲」を続ける女性も「悪妻」です。ご注意ください。

「先頭多くして、船、山に登る」

あれこれ指図する家族が多く、良からぬ方向に進んでしまう家族。

「烏合（うごう）の衆」

話し合いのない、まとまりのない、ただ寄り集まっただけの家族。

およそ家庭不和は、そのどちらか。

自分の考えを押し付け合っている家族か、誰も何も話さない家族か。

我が家のメンバーは

それぞれ素晴らしい長所を持った
補完し合える家族。

リーダーの私がいなくなっても、
その団結力で様々な問題・困難を
解決していくことでしょう。



祝宴最後のあいさつ

今日は還暦のお祝い、まことにありがとうございました。
母親には「この人が息子でよかった」。妻には「この人が夫でよかった」。
息子たちには「この人が父親でよかった」。
そして若嫁たちには「太田家に嫁いでよかった」。
そう思ってもらえるように、これからも精進してまいります。

還暦を迎えても
みんなと同じ、“定番”は大嫌い！
型にハマるの、大嫌い！

還暦定番の衣装に
なんともさえない表情(^_^;) ⇒

還暦爺さん
老けてんなあ～～



還暦を迎えても太田先生は、“型破り”。
やっぱ、こうじゃなくっちゃ！＼(^o^)/

<真っ赤な貴公子>



こんな型破りが許されるのも・・・
「良妻」のおかげです（泣）